

人はなぜ、遍路に出るのか？

11月28日(日)

会場本堂

講演会：14時～16時

予約不要
参加自由



企業の新人研修で先達を勤める大塚さん(左端)

講師：「四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト」を支援する会 事務局長 大塚 仁

私が修行を終えた次の年＝1991年、NHKの番組で左幸子さんが胃を全摘し、食事のままならない状態で、歩き遍路に出た様子を見た。初めは歩くのもやっとだったが、歩くうちに徐々に体調が上向。88カ所目の大窪寺に駆け込んでくる画像を見て感動し、私も遍路に出たいと思った。お遍路さんの本を買い、行く気満々になっていたが、40日もお寺を空けることは出来ず、結局断念。今に至っている。

今回お話しいただく大塚さんは元川西市の職員。2000年、52歳で歩き遍路を始められる。短い休暇を取って、少しずつ歩き、1周まわるのに3年かかったという。大塚さんがなぜ遍路に出ようとしたのか、また遍路の中で実際に体験されたことをお聞きする。また、お遍路さんを応援するための活動についてもお伺いする。大塚さんのプロフィールを見てびっくりした。2008年60歳で四国霊場会先達資格を取得されたが、時を同じくして閉塞黄疸発症、胆管ステント挿入、膵臓がん(ステージⅢb)と前立腺がんが見つかり、2か月後にすい臓がん開腹手術、その後前立腺がんのホルモン療法、放射線治療など受けながら、1年の療養後2010年3月から「バスツアー先達」を年間 百数十日、それを8年間続けられる。その間、肝臓へも転移があり抗がん治療を2年間しておられる。すい臓がんは治療がきわめて困難な癌の一つなのに、どうして大塚さんは遍路を続けるのだろうか。遍路には経験した人にしか分からない不思議な魅力があるのだろうか。(住職 記)

◆参加無料・予約なし! どなたでも自由に参加できます! 詳しくはお寺までご連絡ください。(平日10時～16時)

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail:vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または [川西市岡本寺](#)